

世田谷区八幡山 本会敷地における放射能問題について（第1報）

平成 23 年 10 月 31 日
全国農業協同組合中央会

本会が所有し、定期借地として賃貸している敷地に関して、報道されているように本会敷地および周辺部分から2か所、高い線量が確認されております。

現在、専門業者に対して、原因物質の特定と除去作業を依頼しており、現段階の見通しではおよそ2週間程度の工程と考えております。

本会としては、全く予期しないことではありましたが、行政機関の指導に従い、地域住民の安全と安心を確保するよう、関係者とともに最善の対応を行っていきたく存じますので宜しくお願いいたします。

なお、当該敷地の過去の利用状況について詳細は調査中ですが、概要は以下の通りです。いずれも、放射能との関連性は低いと考えております。

<本会が取得以降の利用状況>

- ① 昭和48年10月 「協同組合短期大学」（別紙参照）から当該地を本会が取得
- ② 昭和48年11月～ （財）アジア農協振興機関（IDACA）に賃貸（海外研修生受入）
- ③ 昭和60年11月～ 賃貸駐車場（現在の店舗周辺）および職員寮（現在の駐車場）
- ④ 平成11年 4月～ 食品スーパー
- ⑤ 平成20年 2月～ 現食品スーパー

<参考 本会取得以前の利用状況について関係資料等より参照>

- ① 昭和 4年 9月～ 産業組合中央会附属組合学校 寮（立志舎）を当地に建設
- ② 昭和19年 8月～ 空襲により、一時寮（立志舎）を千葉成田に移転
- ③ 昭和21年11月～ 財団法人「協同組合学校」寮（立志舎）として当地に戻る。
- ④ 昭和29年11月～ 財団法人「協同組合学校」校舎を当地に建設
- ⑤ 昭和30年 4月～ 学校法人「協同組合短期大学」に改組
- ⑥ 昭和48年 4月 学校法人「協同組合短期大学」廃校

以上

(別紙)

学校法人 協同組合短期大学

1. 設立の経過

前身である協同組合運動のリーダーを育成する1年制の専門学校である財団法人協同組合学校の教育内容をより充実するために2年制の短期大学に改組し、設立された。

2. 目的

高等学校の教育の基礎の上に農業協同組合に関する専門職業の教育を施し、以って農業協同組合の発展に寄与せんとする有為の人材を育成すること。

3. 存続期間

開校 昭和30(1955)年4月1日

廃校 昭和48(1973)年4月30日

4. 学科

農業協同組合学科

5. 学科目

(1) 一般教育科目

① (人文) 哲学、文学、歴史

② (社会) 社会学、法学、経済学

③ (自然) 数学、統計学、心理学

(2) 外国語

英語、ドイツ語

(3) 体育

講義、実技

(4) 専門科目

農業史、農業経済学、農業経営学、経営学、農村社会学、農業金融論、農業協同組合論、農業協同組合史、農業協同組合経営総論、農業協同組合経営総論ゼミ(信用事業論、販売事業論、購買事業論)、農業協同組合共済事業論、農産物市場論、商法、農業協同組合法、商業簿記、農業協同組合簿記、商算及び珠算、会計学、農業協同組合経営分析、農業協同組合監査、農政史、実習及び演習、ゼミナール

以上